

## 福井県立図書館(1/2)

# 県立図書館は情報のワンダーランドです

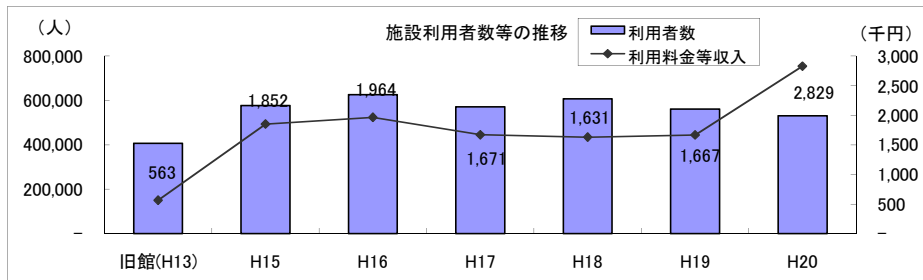
所在地	福井市下馬町51-11		
設置年月日	昭和25年4月1日(平成15年2月1日新築移転)		
施設の種類	図書館	施設管理主体	県
設置の目的	図書その他の必要な資料を収集し、整理、保存して、広く県民の利用に供し、本県における生涯学習の拠点を目指す。		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート造(一部鉄骨鉄筋コンクリート造)、地上5階、地下1階 延床面積15,317㎡、蔵書75.5万冊(開架30万冊、書庫45.5万冊)		
職員数	職員24人 事務補助員1人 アルバイト3人 計28人		

### 利用状況等

	旧館(H13)	H15	H16	H17	H18	H19	H20
利用者数(人)	406,585	577,568	626,208	571,359	607,409	560,678	531,528
個人貸出冊数(冊)	286,896	725,734	788,468	690,285	713,826	688,479	693,595

### 利用者負担(利用料金)等

施設使用料	多目的ホール	21,000円 (全日の場合)
複写手数料	白黒	10円
	カラー	80円



利用状況の推移	<p>平成15年2月に新館を開館したことで、旧館時代に比べ、新館開館初年度の利用者数は1.4倍以上、個人貸出冊数は2.5倍以上となりました。</p> <p>平成20年度の利用者数は約53万人と前年度と比べ約5.2%減少しましたが、個人貸出冊数は前年度より増加し、一人当たりの貸出冊数は約1.3冊と前年度より5.4%増加しました。</p> <p>平成20年度は、書庫棟の一部を貸したことにより行政財産使用料の収入が大幅に増え、貸館の利用料金等と含めた収入が1.8倍以上となりました。</p>
---------	--

### 施設の特徴

身近な課題の解決や調査研究等の支援など地域や県民に役に立つサービスを提供しています。

#### 企画展示等

- ・一般企画・子ども室特集コーナー  
身近な問題の解決に役に立つ資料の紹介や関係機関と連携した講座等を開催し、積極的な情報の提供を行っています。
- ・ふるさと文学コーナー、白川文字学の室  
郷土作家の作品や福井が舞台の作品、白川先生の業績や漢字の成り立ちについて紹介しています。



ふるさと文学コーナー展示

#### レファレンス(調査・相談)

- ・課題の解決に必要な資料や情報を調査し、紹介、提供しています。
- ・ビジネス支援コーナーでは、関連図書等を配置し、商用データベースや官報情報を利用することができます。

#### 研修会・講演会等の開催

- ・県内図書館職員の資質向上のため、研修会を開催しています。
- ・講演会や企画展示に関する講座、子ども向け行事を開催しています。



県内高等教育機関附属図書館との協定締結

#### 利用者サービス

- ・相互貸借、総合目録(横断検索)システム  
県内図書館の蔵書を検索できます。  
また、県内外の図書館の資料を借りることができます。
- ・インターネット予約サービス  
インターネットで、県立図書館の資料を予約することができます。
- ・遠隔地利用者返却サービス  
県立図書館で借りた資料を、近くの市町立図書館(福井市を除く。)で返却できます。
- ・フレンドリーバスの運行  
県立図書館と福井駅の間を2ルート、30分間隔で運行しています。無料で利用できます。
- ・エントランスホールを無料でお貸ししています。展示等に利用できます。

#### 県立図書館ホームページ

<http://www.library.pref.fukui.jp/>

### 平成20年度の特徴について

事業実績	<p>福井県立図書館情報システム機器を更新し、セキュリティ対策を強化するとともに、インターネット上のサービスを充実させました。携帯サイトから資料を予約したり、予約・貸出状況を確認したりできるようになりました。また、インターネット上で色鮮やかな貴重資料を高解像度の画像で見ることができるようになりました。学校図書館向けに、インターネットで貸出文庫の予約ができるサービスを開始しました。【事業費:152,073千円】</p> <p>県内すべての高等教育機関附属図書館と相互協力協定を結び、資料を相互に貸し借りできるようになりました。これにより、県内図書館資料の物流ネットワーク(県立⇄市町立35館・大学等8館)が完成しました。【平成20年12月協定締結、平成21年1月～相互サービス実施】</p> <p>福井県ゆかりの作家25人を取り上げた「ふるさと文学コーナー」では、肖像写真やプロフィール、代表作を紹介するとともに、作家直筆原稿や愛蔵品などを展示しました。また、作家本人を福井に招いて、多目的ホールにて講演会を開催しました。【事業費:2,170千円】</p> <p>県立図書館を利用する遠隔地利用者の利便性向上のため、県内の市町立図書館29館と連携し、「遠隔地利用者返却サービス」を実施しています。【利用冊数:14,663冊】</p>
------	---

# 福井県立図書館(2/2)

## 行政コスト計算書(平成20年度) (単位 千円)

		総額	構成比	前年比
人にかかるコスト	人件費	252,600	29.7%	101.0%
	退職給与引当金繰入	264	0.0%	-91.7%
	賞与引当金繰入	12,222	1.4%	皆増
	計	265,086	31.1%	106.1%
物にかかるコスト	物件費	289,940	34.1%	162.8%
	維持補修費	4,742	0.6%	137.7%
	減価償却費	176,177	20.7%	100.6%
	計	470,859	55.4%	132.0%
その他	支払利息	114,659	13.5%	99.8%
	その他	209	0.0%	113.6%
	計	114,868	13.5%	99.8%
合計		850,813	100.0%	117.9%
収入	利用料等収入	3,679	0.4%	220.7%
	一般財源	847,134	99.6%	117.8%

## バランスシート(平成21年3月31日現在) (単位 千円)

借方			貸方		
資産		前年比	負債		前年比
有形固定資産	13,240,694	99.1%	固定負債	8,460,704	98.5%
うち土地	5,445,525	100.0%	うち起債残高	8,299,892	91.4%
うち建物	7,323,387	95.7%	うち退職手当引当金	160,812	84.2%
うち資料	37,421	100.0%			
投資等	0	-	流動負債	764,703	112.6%
流動資産	0	-	純資産	4,015,287	98.0%
計	13,240,694	99.1%	計	13,240,694	99.1%

## 主な指標 (単位: %、円/人)

	H20	H19	前年比
県民1人あたり有形固定資産額	16,297	16,392	99.4%
県民1人あたり将来負担額	10,414	10,533	98.9%
世代間負担率	30.3	30.7	98.9%

**バランスシート、行政コスト計算書の特徴**

平成15年に文書館を併設して約153億円をかけて整備しました。資産は建物約5割、土地が約4割を占めており、県民1人あたりの有形固定資産額は高い水準になっています。

また、両施設の建設にあたって、約125億円の借入を行っています。20年度末残高が両施設で93億円あり、公債費の負担が大きく、県民1人あたりの将来負担額も高い水準にあります。

人口10万人あたりの入館者数を近隣県の県立図書館と比較すると、5倍程度の利用実績があるなど、施設として有効に活用されています。

なお、行政コストは、情報システム機器の更新により前年度比18%の増加となっています。

**施設の目的上、管理運営上、主要な事業**

管理部門  
施設の維持管理 【H21予算額:約140百万円】  
図書館情報システムの維持管理等 【H21予算額:約22百万円】

事業部門  
図書館書庫の増設(集密書架整備) 【H21予算額:約120百万円】  
資料整備事業 … 図書等の購入  
【H21予算額:約64百万円】  
フレンドリーバス運行事業 … 福井駅までの無料バスの運行  
【H21予算額:約16百万円】  
県立図書館サービス向上事業 … 図書の返却場所拡大等利用者の利便性向上  
【H21予算額:約2.5百万円】  
「ふるさと文学コーナー」整備事業 … 郷土作家の作品等の普及  
【H21予算額:約1百万円】

**今後の課題**

県民の読書の楽しみや学習活動を支援する図書館となるために、地域や住民の身近な課題の解決に必要な様々な資料の収集やデータベースの拡充等、情報を提供する機能の一層の充実や様々な機関との連携・協力が必要です。

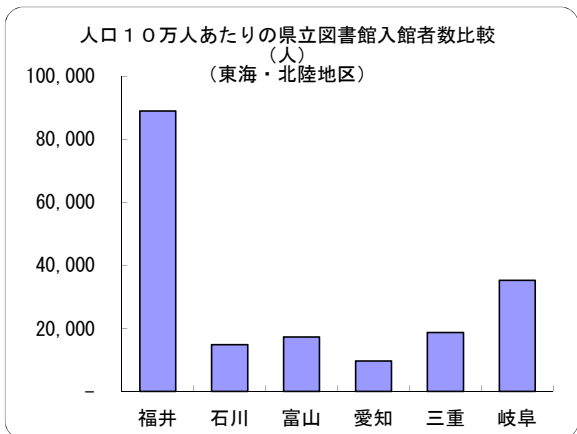
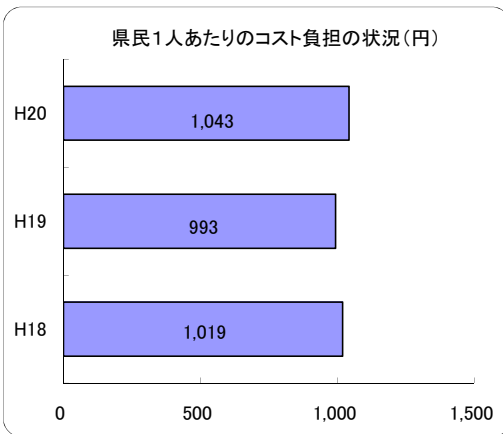
また、子どもの読書活動を進めるため、本に興味を持ち楽しく読書に親しむ環境づくりや、学校図書館への連携・支援が必要です。

利用者サービスの向上のため、市町立図書館への支援・連携を充実させるほか、高等教育機関附属図書館とも連携し、相互にサービスを利用できるような体制を維持していくことが必要です。

**今後の事業方針 取組み内容**

以下の取組みにより、県民に役立つ図書館としてサービスの充実を図ります。

- ①地域や住民が持つ諸課題の解決に必要な情報の提供
  - ・図書館での貸出実績や市町からの貸出要望の多い参考図書などを重点に整備します。
  - ・タイムリーで親しみやすいスポット企画展示、それに関連した講座等を開催します。(身近な問題の解決に必要な資料や情報を提供)
  - ・嶺北・嶺南地域での特色ある企画展を相互に開催します。(ふるさと福井の偉人や民俗・地域性等を広く紹介)
  - ・併設する文書館と連携し、企画・広報を一体化させて広く情報発信します。
- ②サービスの充実
  - ・レファレンス機能を充実します。(バスファインダーの作成、新着情報の発信)
  - ・ビジネス支援コーナーの機能を拡充します。(関係資料・データベースの充実、関係機関との連携)
  - ・県内小中学校へ図書館見学メニューを配布します。
  - ・学校図書館への貸出サービスの広報を行います。
- ③子どもから大人までが楽しめるイベントや講演会等の開催
  - ・子どもへの朗読会、おはなし会を開催します。
  - ・ふるさと文学コーナーの展示内容等を充実します。(積極的資料収集、情報発信の充実)
  - ・作家や児童文学者等の講演会を開催します。
  - ・長期休暇中(夏休み、春休みなど)にイベント等を開催します。
- ④図書館書庫(集密書架)の整備
  - ・集密書架を整備し、県内の情報拠点・学習拠点として相応しい図書館環境を作ります。



※福井県入館者数(若狭図書学習センター含む)